

## 1 深谷市AED普及推進計画策定の経緯

心肺停止者の生存率は、救命処置が1分遅れるごとに7～10%ずつ低下すると言われてしています。救急現場において救急車が到着するまでの間に、その場に居合わせた一般市民（非医療従事者）が心肺停止者に対し迅速に除細動を行うことができれば、生存率や社会復帰率の向上が期待できます。

平成16年7月、厚生労働省医政局長通知「非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用について」により、医師、看護師、救急救命士以外の者によるAED（自動体外式除細動器）の使用に関して見解が示されました。

平成18年7月には、埼玉県が「埼玉県AED普及推進計画」を策定し、県内の公共施設や民間施設等へのAED設置、救命講習会の受講促進などの普及啓発が開始されました。

これを受け、本市では市民の尊い生命を守るため、市民の救命への関心と協力意欲の高揚、AEDの設置推進を官民一体で行うため、平成25年9月に「深谷市AED普及推進計画」を策定し、AEDの普及啓発に取り組んできました。

## 2 深谷市AED普及推進計画の概要と結果

(1) 趣 旨 市民が市民を救う基本的な理念として、人命救助の思想を普及するとともに、心肺停止状態の傷病者の救命率の向上を図ることで、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。

(2) 計画策定 平成25年9月

(3) 計画期間 平成25年度から平成29年度まで（5か年）

(4) 計画構成

ア AEDの普及啓発 [広報ふかや、ホームページ、パンフレット等]

イ AEDの設置促進 [市有施設、民間施設]

ウ AEDの設置情報の公開 [県・市AEDマップ]

エ 救命講習会の受講促進 [市民、市職員、事業者等]

オ AED貸し出し制度の周知と活用促進 [市民を対象とするイベント等]

(5) 計画における数値目標と結果

項目\年度等	25	目標値	実績
市有施設のAEDの設置数	102台	127台	129台
救命講習会の受講者数	—	10,000人	26,070人
貸し出し用AEDの配備数	1台	3台	4台

### 3 AEDの普及啓発

---

心肺停止状態の傷病者の救命率の向上のためには、基本的な心肺蘇生措置と迅速なAEDの使用が必要であり、その役割はとても重要です。

一般市民（非医療従事者）にとって、心肺蘇生措置・AEDに対する印象は、「私には無理かな…」「誰かがやってくれるだろう…」「使い方がわからない…」などが多いと考えられます。まずは、心肺蘇生措置やAEDに対する「不安」「困難」という一般的なイメージを軽減・解消していく啓発活動や救命講習会への受講促進などが必要となります。

そこで、市では市イメージキャラクターふっかちゃんが、ゆるく可愛く簡素にAEDを操作する動画「ふっかちゃんと学ぼう（AEDの使い方編）」を制作し、これまでインターネット動画（YouTube）による啓発を実施してきました。

また、消防本部による救命講習会の開催に加え、未就学児の親を対象とした小児救急法セミナー（熊谷保健所主催）の開催、埼玉県が作成したAED普及推進に係るパンフレット等の配布など、AEDの普及啓発を進めてきました。

#### （1）AED操作に関する啓発動画

公開時期 平成26年12月公開～

視聴回数 4,064回（平成30年3月末現在）

チラシ P7参照

#### （2）市ホームページにおける啓発

AEDに関するページを開設し、AED操作に関する啓発動画の紹介、貸出しに関する案内、AEDマップに関する案内、救命講習会の受講に関する案内（リンク）など啓発を行いました。

#### （3）埼玉県AED啓発物資の配布

埼玉県が作成した啓発物資を福祉健康まつり、小児救急法セミナー、市内公共施設、保健センター窓口等で配布を行いました。

ア 「みんなの尊い命を守る」※パンフレット

イ 「AEDの設置場所を今すぐ確認」※カード

### 4 AEDの設置状況

---

#### （1）市有施設への設置

市では、不特定多数の市民が出入りし利用する施設として、新たに深谷駅市民サービスセンター、道の駅はなぞの、はたらふれあい館、中の家な

どに設置し、また、市民が運動を目的として利用する施設や小学校・中学校等の施設として、市民体育館、学童保育室（19か所）に設置することができ、目標とする計画台数（127台）を上回ることができました。

ア 設置箇所 市内 120施設

イ 設置台数 129台

<参考> 別表「AED設置施設一覧 市の施設」

## （2）民間施設の設置

市AED普及推進計画の策定後、民間施設における設置台数が以下のとおり増加しました。

このほか、平成27年9月に秩父鉄道永田駅・小前田駅・武川駅・明戸駅の各駅舎内に1台設置（貸与）しました。

※秩父鉄道（市内4駅）への設置は、市民からの寄附行為により、市が特別に設置したものです。

ア 平成25年3月現在 市内 125台（105施設）

イ 平成30年3月現在 市内 151台（126施設）

## 5 AEDの設置情報の公開

---

### （1）市内AEDマップの作成と公開

市では、平成25年度に市AEDマップを作成し、福祉健康まつり会場や市内各公民館及び保健センター内に掲示しました。

また、市民がインターネットでAEDの設置場所を確認できるようマップをデジタル化（市施設マップ）し、市ホームページで公開しています。

さらに、平成28年度から『ふかやMap』との情報共有を図り、市有施設に設置しているAEDの詳細情報（使用時間、設置位置等）を掲載するなど情報の公開・更新を行なっています。

なお、民間施設において新たにAEDを設置した場合、市AEDマップに掲載していただけるよう届出の様式を市ホームページに掲載しています。

### （2）埼玉県AED設置情報提供システムの活用

埼玉県のAED設置情報と市AEDマップ設置情報との整合性を図る目的として、適宜、新規設置者等の情報の共有を行なっています。

## 6 救命講習会の受講状況

### (1) AED普及推進計画における救命講習会実施数及び受講者数

市消防本部警防課が実施する救命講習会（普通救命講習会及びその他救命講習会）は、5年間において、約26,070人が受講し、目標とする計画人数（10,000人）を上回ることができました。

◆受講者の年度別推移 [単位：人（ ）は実施数]

コース\年度	25	26	27	28	29	合計
普通救命講習Ⅰ (3時間)	1,440 (82)	1,971 (105)	1,751 (93)	1,641 (97)	1,455 (99)	8,358 (476)
普通救命講習Ⅱ (4時間)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	0 (0)	19 (1)
普通救命講習Ⅲ (3時間)	107 (4)	167 (10)	155 (7)	71 (5)	408 (15)	908 (41)
上級救命講習 (8時間)	32 (1)	56 (2)	51 (2)	50 (2)	54 (2)	243 (9)
救命入門コース (90分)	1,248 (39)	1,001 (37)	654 (24)	547 (25)	531 (23)	3,981 (148)
基礎救命講習 (3時間未満)	1,925 (50)	3,307 (70)	3,318 (81)	1,948 (59)	2,063 (66)	12,561 (326)
合計	4,752 (176)	6,502 (224)	5,929 (207)	4,276 (189)	4,611 (205)	26,070 (1,001)

※データは市消防本部より提供

### (2) 市職員を対象とした救命講習会実施数と受講者数

◆受講者（市職員）の年度別推移 [単位：人（ ）は実施数]

コース\年度	25	26	27	28	29	合計
普通救命講習Ⅰ (3時間)	110 (4)	107 (4)	85 (4)	38 (2)	80 (4)	420 (18)

※データは市消防本部より提供

## 7 AEDの貸し出し状況

### (1) 貸し出し用AEDの配備数

保健センターでは、平成25年10月に深谷市自動体外式除細動器（AED）貸出要綱を定め、随時、市民団体等へAED（2台）を貸し出しています。

平成26年度に貸し出し用AED（2台）を追加し、目標とする計画配備数（3台）を上回ることができました。貸出件数も年々増加しています。

ア 貸し出し用AEDの配備数 4台（平成30年3月31日現在）  
イ 貸出件数 167件（5年間）

◆年度別の推移 [単位：件]

年度	25	26	27	28	29	合計
貸出件数	—	18	32	54	63	167

## 8 AEDを使用した救命事例

救急現場に居合わせた一般市民（バイスタンダー）が、AEDを使用し人命救助に当たった件数は5年間において13件（年平均2.5件）です。

また、CPR（心肺蘇生法…心臓マッサージ及び人工呼吸）のみによる応急手当の実施状況は5年間において391件（年平均78.2件）、応急手当実施率の平均は40.94%となります。心肺停止傷病者数、CPR件数は年々増加傾向にありますが、応急手当実施率も向上していることが確認できます。

### (1) 一般市民（バイスタンダー）による除細動（AED）実施回数

年度	25	26	27	28	29	合計
実施回数	1件	5件	2件	2件	3件	13件

※データは市消防本部より提供

### (2) 一般市民（バイスタンダー）による応急手当の実施状況

対象 年度	心肺停止傷病者数	バイスタンダー CPR	応急手当実施率
25	178人	66件	37.07%
26	188人	75件	39.89%
27	193人	67件	34.71%
28	193人	82件	42.48%
29	203人	101件	49.75%
合計	955人	391件	40.94%

※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人（発見者・同伴者等）

※データは市消防本部より提供

## 9 課題と今後の取組み

---

平成25年9月に策定した「深谷市AED普及推進計画」に基づき、市ではこれまで市有施設へのAED設置の促進、設置情報の公開、救命講習会の受講促進、AED貸し出し制度の創設・実施など、多岐にわたり、AEDの普及啓発に務めてきました。

計画に掲げた目標については計画期間内に達成することができましたが、一方で、民間施設への設置促進の強化、夜間にAEDが使用（貸出）できる環境の整備、民間事業者の設置情報の公開・拡充、AEDの適正管理などが今後の課題としてあげられます。

市民の尊い命と健やかな生活を守るためには、市及び市民・民間事業者等がこれら課題解決に向けた取組みをさらに推進していく必要があります。

本計画は、平成29年度末をもって終了となりますが、本市では、平成30年度に「(仮称) 深谷市AED普及推進ガイドライン」を策定し、引き続き、AEDの普及推進に努めます。